

八重山農林高校校歌

本調子

工	
五	
工	
合	
工	
合	
工	
中	
尺	
上	
工	
合	

工	
合	
工	
合	
四	
合	
四	
中	
上	
合	

上	
合	
四	
合	
四	
四	
合	
合	
中	
合	

中	い
四	の
上	し
合	
上	お
中	お
四	じ
合	
四	
乙	
合	に

合	か
工	こ
合	
工	
中	お
四	ま
上	あ
中	れ
工	え
上	て
合	

上	
合	
上	
合	も
乙	ゆ
尺	
乙	
尺	
合	る

四	だ
上	
五	い
四	
五	
四	ち
工	の
四	や
上	
中	え
合	

中	
工	え
上	や
合	
上	ま
合	
四	は
四	
四	

上	む
上	げ
合	ん
尺	
合	の
合	ほ
上	う
合	

上	
合	
上	こ
合	
中	う
上	う
四	づ
合	
四	
老	う
乙	め
乙	

中	っ
合	
上	っ
合	
上	
合	
上	
工	わ
五	か
工	き
合	

工	
合	
工	
中	お
尺	の
上	こ
工	を
合	
工	
合	
工	

八重山農林高校校歌

本調子

2/2

合	さ
四	し
合	
四	
中	ま
上	ね
合	
上	
合	
四	く
合	

四	
合	
四	

一、1 . 八重の潮路に囲まれて
燃ゆる大地の八重山は
無限の宝庫 埋めつつ
若き男の子を さし招く

2 . 白雲たなびく おもと岳
裾野を流るる 宮良川
自然の恵み いと深く
愛郷愛土の 血ぞたぎる

3 . うるまの島に 生をうけ
国を富まさん 土の民
いざ身を捧げて 農業の
いさおし永久に うちたてん

4 . 朝に白露 夜は星
いただきながら 農産の
道を究むる 学窓の
ただ一筋の 誠のみ

5 . 青空高く 大鷲の
翼をならして はばたけば
輝く真理の 朝ぼらけ
これぞ我らの 望みなれ